

# ねりま

# ねりまの文化財

# 東京文化財ウィーク2013

毎年11月1日から7日までの1週間は「文化財保護強調週間」です。この期間中は、全国的に文化財の保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。

東京都では、強調週間の前後を「東京文化財ウィーク」として、都内全域で文化財を公開するとともに、関連する企画事業を実施します。文化財の公開については、ウィーク期間中に特別に公開する文化財と、通年公開している文化財(4頁)があります。

ガイド冊子「東京文化財ウィーク」(特別公開・企画事業編、通年公開編) 9月下旬に伝統文化係(区役所本庁舎11階)、石神井公園ふるさと文化館、区立図書館などで配布する予定です。また同内容が東京都のホームページにも掲載されます。練馬区以外の事業にも参加できますので、ご覧ください。



「板絵着色役者絵」(「双蝶々曲輪日記図絵馬」)



「牛若丸・弁慶図絵馬」

## 企画事業 特別公開 都指定文化財「板絵着色役者絵」

長命寺所有の都指定有形文化財「板絵着色役者絵」(区登録文化財名称「双蝶々曲輪日記図絵馬」)を特別に公開するとともに、あわせて区登録有形文化財「牛若丸・弁慶図絵馬」を公開します。

「板絵着色役者絵」は、文政元年(一八一八)に奉納された縦147cm、横163cmの絵馬です。鳥居清長晩年の作で、江戸中村座で興行された「双蝶々曲輪日記」の一場面を描いたものです。

「牛若丸・弁慶図絵馬」は、縦126cm、横148cmの二面一対の絵馬です。牛若丸と弁慶が五条橋で出会う「橋弁慶」の場面を描いたもので、江戸時代の作と考えられます。

【日時】10月28日(月)・29日(火)  
午前10時～午後3時  
申込不要、直接会場へ

【場所】高野台3-10 長命寺 本堂  
【交通】練馬高野台駅(西武池袋線)  
下車 徒歩5分

【問合せ】伝統文化係  
境内には都指定史跡「東高野山奥之院」や、区登録有形文化財の「長命寺の梵鐘」「長命寺仁王門」もあり普段観覧できます。また、当日は本堂内で五百羅漢漢像もご覧いただけます。

企画事業  
尾崎遺跡(都指定史跡)  
出土品解説会

尾崎遺跡は、春日小学校建設に先立って行われた発掘調査により発見された旧石器～江戸時代の各時代の遺構や遺物が出土しました。これらの出土品について学芸員が解説いたします。

【日時】11月10日(日)  
午前10時と午後2時の2回  
申込不要、直接会場へ

【場所】春日町5-12-1  
春日小学校内 資料展示室

【交通】練馬春日町駅(都営大江戸線)  
下車 徒歩8分

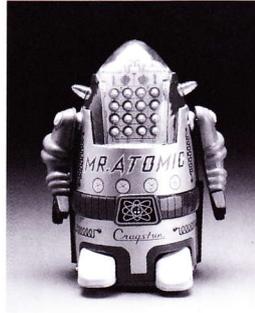
資料展示室は、土・日・祝日(年末年始を除く)の午前10時～午後4時に入場無料で通年公開しています。普段の観覧は学校への事前予約が必要です。

03(3926)7102

石神井公園ふるさと文化館  
東京文化財ウィーク企画事業

●特別展「懐かしの風景  
北原コレクションの世界」

世界的なおもちゃコレクターとして著名な北原照久氏のコレクションの中から、おもちゃ、看板、ポスター、ラジオ等を展示します。



ミスターアトミック  
(ブリキのおもちゃ博物館所蔵)

【期間】 9月21日(土)～11月17日(日)

午前9時～午後6時

【場所】 石神井公園ふるさと文化館 企画展示室

【観覧料】 一般300円、高校生・大学生200円、65歳以上75歳未満・障害者150円、中学生以下と75歳以上無料

【講演会】 10月6日(日)

午後2時～午後4時

講師 北原照久氏

【講演会申込】 9月11日から電話受付

定員100名(先着順)

●ふるさと文化講座

「練馬から世界へ発信50年  
影絵人形劇の魅力」

練馬区を拠点に「シルエット劇場」を国内外で公演している劇団角笛が50周年を迎えました。影絵人形劇の魅力や文化交流など様々な話を伺います。

【日時】 11月3日(日)

午後2時～午後3時45分

【場所】 石神井公園ふるさと文化館

【申込】 10月22日から電話受付

定員100名(先着順)

●ふるさと探訪・秋

練馬の自然・文化施設などを、ボランティアスタッフの解説で巡ります。

【日時】 10月27日(日)

午前9時～正午

【場所】 区内各所

【申込】 10月1日から電話受付

定員40名(先着順)

●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡)の発掘調査の様子を、主郭跡内にて写真パネルで紹介いたします。

【期間】 10月26日(土)～11月4日(月)

午前9時30分から午後4時30分

【場所】 都立石神井公園内石神井城跡(三宝寺池南の台地上・練馬区石神井台1丁目)

【申込】 不要、直接会場へ

●小野蘭山墓誌の公開展示

小野蘭山(一七二九—一八一〇)は

江戸時代中期の本草学者(博物学者)です。蘭山の事績を記した墓誌を特別公開します。

【期間】 10月18日(金)～11月4日(月)

午前9時～午後6時

【場所】 石神井公園ふるさと文化館 常設展示室

【観覧料】 無料

●東京9区合同開催行事

「来て・見て・発見! はじめよう古民家めぐり 古民家の魅力を伝えます」

東京23区内で古民家を文化財として指定・登録している9区(足立区・板橋区・江戸川区・北区・江東区・杉並区・世田谷区・目黒区・練馬区)が連携して古民家のパネル等の展示を行います。

【期間】 10月2日(水)～10月30日(水)

午前9時～午後8時30分

※土曜は午後5時まで

※日曜・祝日休館

【場所】 東京区政会館(千代田区飯田橋3丁目5番1号) 1階エントランスホール

【観覧料】 無料

【問合せ】 石神井公園ふるさと文化館 03(3996)4060

【休館日】 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その直後の祝休日でない日)

詳細は「ねりま区報」を閲覧ください。

文化財保護審議会

委員委嘱(第14期)

練馬区では、区内文化財の保護・保存および活用を図るため、練馬区文化財保護条例に基づき、学識経験者で構成する練馬区文化財保護審議会を設置しています。

主な役割は、①教育委員会の諮問に応じる ②文化財の保存等について重要事項を調査し、審議する ③重要事項について教育委員会に提言するの三点です。この度、平成25年4月1日付けで、左記7名の方に、練馬区文化財保護審議会委員を委嘱しました。任期は2年です。

◆委員一覧(敬称略・五十音順)◆

伊郷 吉信 文化学園大学造形学部・日本大学生産工学部講師

(建築)

漆澤その子 武蔵大学人文学部教授

(日本芸能史)

佐藤 孝之 東京大学史料編纂所教授

(日本近世史)

柴辻 俊六 日本大学大学院講師

(日本中世史・古文書学)

副島 弘道 大正大学文学部教授

(彫刻史・文化財学)

松崎 憲三 成城大学文学部教授

(日本民俗学)

森 公章 東洋大学文学部教授

(日本古代史)

# ◆◆◆ 遺跡を守るよじりん ◆◆◆

区内には120箇所以上の遺跡があり、河川沿いを中心に、旧石器時代から中世まで人々が生活した痕跡が眠っています。これらの遺跡は「周知の遺跡」といって、

遺跡の範囲や時代・種別が認定されています。「遺跡」は、「埋蔵文化財」として文化財保護法に明記されています。

宅地等の開発に際して、遺跡に該当している場合は、工事着手の60日前までに「発掘届」を提出することが、文化財保護法第93条(公共事業等の場合は第94条の「発掘通知」)で義務づけられています。これらの届出等は、区を経由して東京都教育委員会に提出します。

昨年度、区の窓口や電話による埋蔵文化財の照会件数は四千件を超え、発掘届や発掘通知は94件でした。発掘届あるいは発掘通知を受理した後、開発によって遺跡が失われる可能性がある場合は、事前に**試掘調査**を行って遺跡の有無確認を行います。工事による掘削の深さが浅い場合等は、工事の際に区の職員が立会う調査を行います。昨年度の試掘調査は15件で、このうち、遺跡の本調査は2件でした。本調査の経費は個人住宅以外、原則として事業者負担をお願いしています。

発掘調査は、開発を原因として実施する緊急調査がほとんどですが、歴史

上または学術上の価値が高い場合に、保護保存の目的で行う学術調査もあります。区内で実施した学術調査としては、平成10年から6年継続して実施した石神井城跡の調査があります。東京文化財ウィークの参加事業として、区民を中心としたボランティアとともに城跡の構造を解明するという目的で発掘調査を行いました。区民の皆様の埋蔵文化財の保護意識を高めるだけでなく、石神井城跡が地域の宝であることを感じていただくことを目指して実施したものです。

法令が適用される「周知の遺跡」の範囲は、試掘調査や発掘調査等で新たに遺跡が発見されることなどで変更します。遺跡が発見された場合は、届出をしなければならぬことが文化財保護法第96条に定められています。遺跡範囲の変更は、区が東京都に申請を行います。審査の後、決定します。

たとえば、遺跡が新たに発見された



石神井城跡の堀(1998年調査)



石神井城跡の堀(1998年調査風景)

例として、外かん道路関連遺跡があります。昭和63年から平成4年に、外かん環状道路建設に先立って発掘調査が行われ、このうち、丸山東遺跡では、弥生時代の首長墓である方形周溝墓から壺やガラス玉等が出土しました。

遺跡の多くは、開発によって消滅してしまっています。緊急調査では、工事前に発掘調査を実施して、出土した遺物の状態や住居跡等の遺構を実測図や写真等で記録し、報告書を作成します。失われる遺跡を記録するという形で保存します。遺跡は、それぞれに特徴があります。また、その数は有限です。遺跡は、地域の歴史を知るための貴重な資料ですが、失われた遺跡は二度と元にもどすことはできません。次代に貴重な歴史資料を残すためにも保護し保存していくことが大切です。



丸山東遺跡段梯子出土状態

◆アトリウム展示◆

## ねりまの遺跡展〜中新井川流域

★期間 8月21日(水)〜9月12日(木)

★場所 練馬区役所本庁舎

アトリウム棟・正面入口西側  
最近、開発が多い豊玉、中村南に所在する遺跡の出土品を住居跡の写真パネル等とともに展示します。

### ★解説会

8月22日(木) 午前11時〜正午

9月4日(水) 午後1時〜午後2時

【問合せ】伝統文化係

北新井遺跡から出土しました



## 第25回練馬区伝統工芸展

今年も、区内で継承されている匠の技の数々が一堂に会します。

◆日時 10月25日(金)〜27日(日) 午前10時〜午後5時

◆会場 石神井公園区民交流センター

石神井公園ピアレスA棟2・3階

◆出展種目 江戸刺繍/東京彫金ほか

◆内容 展示・実演・販売・体験ほか

◆主催 練馬区伝統工芸会

◆後援 練馬区・練馬区教育委員会・練馬区観光協会

# 国指定・登録、都指定の文化財を公開しています

区内には国指定・登録、都指定の文化財がいくつもあることをご存知でしょうか。ここでは、そのうち普段観覧できる文化財を紹介いたします。

## 練馬白山神社の大ケヤキ

(国指定天然記念物)

白山神社の2株のケヤキは、いずれも樹齢約90年と推定される全国でも有数の巨木です。永保3年(一〇八三)、源義家が「後三年の役」で東北地方に向かう際に戦勝を祈願して苗木を奉納したと伝えられています。

【所在】練馬4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅(西武豊島線・都営大江戸線)下車 徒歩5分



## 三宝寺池沼沢植物群落

(国指定天然記念物)

三宝寺池の中央にある「中の島(浮島)」周辺を範囲として指定されています。

す。コウホネ、ミツガシワ、ハンゲシヨウ、カキツバタなどの水生植物を中心に貴重な植物相がみられます。

【所在】石神井台1-27ほか

都立石神井公園内

【交通】石神井公園駅(西武池袋線)

下車 徒歩15分



## 牧野記念庭園

(国登録記念物)

世界的に著名な植物学者である牧野富太郎(一八六二—一九五七)が、大正15年から逝去するまでの30年余り居住した住宅と庭の跡です。

【所在】東大泉6-34

【交通】大泉学園駅(西武池袋線)

下車 徒歩5分

【開園時間】午前9時〜午後5時

※火曜日休園

【問合せ】牧野記念庭園

03(3922)2920

## 石神井城跡

(都指定史跡)

石神井川の水源の一つである三宝寺池の南側台地に石神井城跡があります。南北朝・室町時代に石神井川流域を支配した豊島氏の拠点でした。

【所在・交通】

「三宝寺池沼沢植物群落」と同じ

※ウィーク期間中、普段入ることのできない城跡の主郭内を特別公開し、発掘パネル展を行います(詳細は2頁)。

## 東高野山奥之院

(都指定史跡)

長命寺の境内西部にある霊場域です。長命寺は江戸時代に紀州高野山の霊場を模して整備されたので、「東高野山」と呼ばれます。奥之院への参道には石塔や石仏等が数多く建ち並んでいます。

【所在・交通】

1頁「企画事業特別公開」と同じ



## 小野蘭山墓及び墓誌

(都指定有形文化財)

池永道雲墓 (都指定旧跡)

小野蘭山(一七二九—一八一〇)は江戸時代中期の本草学者(博物学者)、池永道雲(一六七四—一七三七)は書家・篆刻家です。両墓ともに大正12年の関東大震災の罹災により昭和の初めに浅草から現在地に移転しました。

【所在】練馬4-27

迎接院・受用院墓地内

【交通】豊島園駅(西武豊島線・都営大江戸線)下車 徒歩5分

※小野蘭山の墓誌は、現在石神井公園ふるさと文化館で保管しており、10月18日(金)〜11月4日(月)に同館で展示します(詳細は2頁)。

## 丸山東遺跡方形周溝墓

出土品 (都指定有形文化財)

大泉町三、四丁目目所在した丸山東遺跡の方形周溝墓4号を中心に出土した弥生土器12点・ガラス玉71点・管玉5点・鉄剣1口です。武蔵野台地における弥生時代後期の方形周溝墓一括出土品として秀逸です。

【所在】石神井公園ふるさと文化館

